

令和8年度 病害虫防除情報

令和8年7月8日
発表：福島県病害虫防除所

**ネギべと病の発生が急増しています。
定期的な薬剤散布を徹底し、被害を防ぎましょう。**

- 1 対象作物：ネギ
- 2 病害名：ネギべと病 (*Peronospora destructor*)
- 3 対象地域：浜通り

【発生状況】

2026年7月1日に実施したいわき市内秋冬ネギほ場（4件）の巡回調査では、べと病の発生ほ場割合が100%と、例年（2023～25年の平均）の割合を大きく上回り、過去3か年で最も多くなりました。また、発病度が中以上の高いほ場も多く確認されました（図1）。

東北地方の1か月予報（7月2日仙台管区气象台発表）では、向こう1か月の天候は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、今後降雨が続いた場合にさらなる発生の助長が懸念されます。

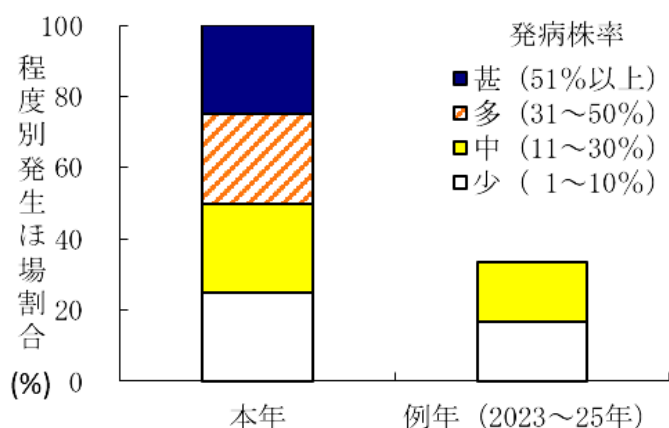


図1 ベと病の発生状況



写真1 葉身に発生した病斑

【病徴と発生生態】

- (1) 主に葉身に発生する。はじめ黄白色で健全部との境界が不明瞭な不定形の病斑を生じる。そこに灰白色の薄いかびが生える。その後、病斑部の周囲は明瞭となる。症状が進むと、被害部は黄白色あるいは灰白色にしおれて枯れる。（写真1、2）
- (2) 本病は多湿条件を好み、平均気温 15～20℃で降雨が続く場合に発生が多くなるため、梅雨期や秋雨期に多発しやすい。

【防除対策】

- (1) ほ場をよく観察し、発病の把握に努めてください。
- (2) 今後、急激にまん延する可能性があるため、発病前の予防散布を行ってください。
- (3) 薬剤散布は、曇雨天時を避け、薬剤が速やかに乾く晴天時に実施しましょう。
- (4) 薬剤散布の際は、展着剤を加用し、株元にもしっかりと散布しましょう。
- (5) 多湿条件や多肥、肥料不足は発生を助長するため、適正な肥培管理に努めてください。

【写真】



写真2 葉身に発生した病斑



写真3 ネギベと病の分生子及び分生子柄

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727